



東北大学東北アジア研究センター

歴史講座

東北大学東北アジア研究センターで開催する「みちのく歴史講座」では、私たちが住み暮らす地域の歴史を学ぶことを目的としています。今回は、考古学がご専門の高橋守克先生から、発掘調査で判明した旧石器時代から江戸時代までのさまざまな災害の痕跡をご紹介いただくとともに、他分野との連携で導き出された貞観津波（869年）の実態についてご講演をいただきます。

遺跡が語る！宮城の災害の歴史



講師：高橋 守克（宮城県考古学会「大地からの伝言」等研究部会長）

2020年

1月24日（金）

13時～15時

会場
仙台市泉文化創造センター
仙台銀行ホール
イズミティ21 小ホール

- 地下鉄南北線「泉中央駅」下車、「北3出口」より徒歩5分。
- バス「地下鉄泉中央駅」下車、徒歩5分。
- 自家用車 ◆専用駐車場あり(有料)、センター利用による優待割引等なし。



©主催：東北大学東北アジア研究センター

(問合せ) 東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 ☎022-795-3140 E-mail: uehiro@grp.tohoku.ac.jp